

「第4回女技カフェ」 開催報告

日時：2022年9月1日（木） 10:00～11:45

場所：オンライン（zoom）

参加人数：約80名（参加登録人数：87名、大学等：38機関）

「女技カフェ」は、女性技術職員が日々感じていることなど気軽に語り合い交流を持つことを目的としています。参加者には女性技術職員ネットワークに興味を持ってくださる全ての方を対象としており、男女を問わず、職域を越えて全国から多数登録をいただきました。4回目となる今回は「2022年度機器・分析技術研究会」とのコラボレーション企画として開催し、それに関連したテーマも設定しました。

イベントはまず、島岡 まな・大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター長・副学長 より開会の挨拶があり、続いて 中本 有紀・大阪大学 部局横断型女性技術職員ネットワーク代表 が女性技術職員ネットワークの説明と本イベントの趣旨説明を行いました。その後 戸所泰人・2022年度機器・分析技術研究会実行委員長 から機器・分析技術研究会について紹介がありました。

次に、4つのテーマに分かれブレイクアウトルームでグループワークを行いました。各部屋にはファシリテータ1名とメインスピーカー2名、書記1名が入りましたが、状況に応じて視聴者にも参加してもらいながら、意見交換を行いました。テーマは以下の通りです。

1. 心の回復力（レジリエンス）
2. 業務やりくり
3. 技術職員に関わるホットな話題
4. フリートーク（資格についてなど）

テーマ1は前回からの継続テーマで、心身の不調と乗り越え方などが体験を交えながら語られました。テーマ2は参加者アンケートの回答に沿った話題を中心に、キャリア・スキルの捉え方（技術職員としてのキャリアパス、将来のキャリアパスから見た仕事の進め方、選び方）について、また業務を同時進行する工夫や注意していること、専門業務と他の業務活動（技術部、女技ネットなど）との割合をどのように考えているか、業務のマネジメント・技術の継承をどの様に行うかなどが話し合われました。

テーマ3ではスピーカーの方たちが取り組んでいる活動（ワークライフバランス研修、業務改善WG、技術職員コンソーシアム、研究基盤協議会若手技術職員ネットワークなど）について紹介された後、後継者不足などそれぞれが持つ悩み事について話し合われました。テーマ4は話題を特許に絞り、取得に関わった経験や技術業務との両立などで話が進められました。

ブレイクアウトルームでのグループワーク終了後、全員がメインセッションに戻り、各グループの代表者がそれぞれまとめを発表し参加者全体で情報共有をおこないました。最後に中本代表より閉会の挨拶があり、イベントは終了しました。

イベント参加者からは、「他大学の現状を色々な方から聞くことができた。相談するところがなく悩んでいたが参加できてよかった。とても参考になる情報が得られて有意義な時間だった。」など感想が寄せられました。このイベントが新たな気付きや技術交流のきっかけになることを願っています。末筆になりますが、ご参加・ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

